

ファンダメンタル分析から見た 大豆市場のポイント

サンワード貿易株式会社
コンシェルジュデスク
植村 和久

2016年1月19日放送分

この資料は投資判断の参考になる情報提供を目的とするもので、投資勧誘を目的としたものではありません。内容についても、信頼すべきと判断した情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。投資の最終判断は投資家自身でなさいますようお願いいたします。当資料の一切の権利はサンワード貿易(株)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

1. 世界の大豆需給

生産量	1位	米国	(32%)	} 世界全体の 82%
	2位	ブラジル	(31%)	
	3位	アルゼンチン	(19%)	

消費量	1位	中国	(29%)	} 世界全体の 62%
	2位	米国	(18%)	
	3位	ブラジル	(15%)	

(2013/14年度 USDA発表)

2. 米国の需給

- ▶ 作付け とうもろこしより10日ほど後に作付け
USDA発表の作付意向面積(3月末)と
確定作付面積(6月末)に注目
- ▶ 在庫 8月末の期末在庫率
(10%～15%が適正水準)

3. 南米の需給

- ▶ ブラジルとアルゼンチンの生産量
⇒ 世界全体の50%
- ▶ 南半球のため、米国とは生育サイクルが逆
- ▶ 輸送インフラ、港湾インフラの問題

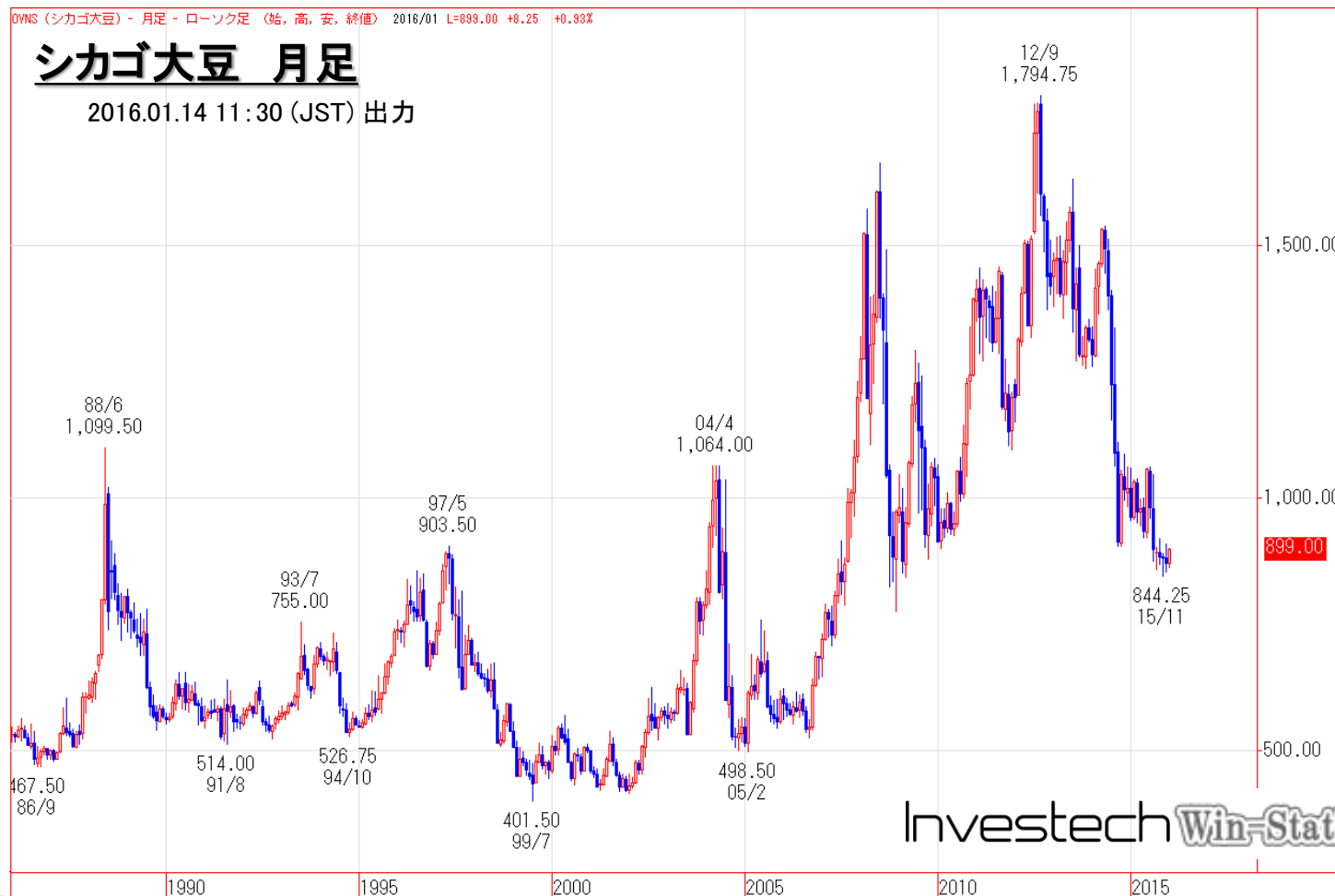
4. 中国の需給

- ▶ 大豆ミール、大豆油の需要増加に伴い、世界最大の消費国になっている
- ▶ 米国、ブラジル、アルゼンチンの3ヶ国に輸入依存
- ▶ 国家備蓄の放出(食用油高騰への対応)

5. 天候のポイント

- ▶ 作付け時の長雨
- ▶ 7月から8月にかけての開花・着莢期の気温・降水量
- ▶ 収穫時の早霜、長雨

6. 過去30年間の シカゴ大豆の価格



Investech Win-Station[®]

Copyright(c)2016 Sunward Trading INC.

7. 日本の輸入大豆価格

- ▶ CBOT (Chicago Board Of Trade) 大豆の価格
- ▶ 為替
- ▶ フレート(海上運賃)